

大同が大崎に圧勝！ 女子はオムロン、北國が首位併走

～第33回日本ハンドボールリーグ第5週～

第33回日本ハンドボールリーグ第5週は10月11日に男子5試合、女子3試合が行われ、男子では大同特殊鋼がG K高木、末松らの活躍で大崎電気に30-21と圧勝、開幕5連勝で単独トップを守った。そのほか湧永製薬がHondaを退けて4勝1分で大同に続き、トヨタ紡織九州も北陸電力の追撃を振り切って3位に浮上。女子は同勝点で首位を併走するオムロンと北國銀行が順当に勝利を飾った。

男子注目の首位決戦・大同-大崎戦は、末松の7mスローで先制した大同が5分までに3-0とリードしたのに対し、大崎も内田、永島のシュートなどで9分4-5と1点差に迫った。試合の流れはどちらにも傾きかけそうなこの場面で試合の主導権を一気にたぐり寄せたのは大同。G K高木が大崎のノーマークシュートをことごとくシャットアウトすると、これでペースをつかんだ攻撃陣が20分過ぎから速攻などで5点を連取、守っても大崎を9得点に押さえ込んで前半を8点リードで折り返した。大崎も後半6分過ぎから宮崎らで3連取、大同・李の退場もあって反撃ムードが高まったが、ここで大崎・宮崎のパスをインターセプトした大同・末松がそのまま独走ゴール。その後も要所を締めたG K高木の集中力が光る大同が快調に試合を進め、この大一番に完勝した。

2位の湧永はHonda相手に前半8分過ぎから古家、福田らの活躍で5点を連取、13分10-3と試合の主導権を握ると、その後も高いディフェンスの壁にもいわせてHondaの攻撃を阻み、前半を16-9と7点リードで終了。後半に入り、Hondaのポスト攻撃が機能しはじめ、G K兼浦の好セーブをからめて必死に追撃したが26分21-26と5点差とするのが精一杯、攻撃をカットインに切り替えた湧永がそのまま逃げ切った。

紡織-北電戦は前半20-15と先行した紡織が、後半出だしにも中畠、村上秀の連続速攻でさらに加速、その後もG K谷川を軸とした手堅いディフェンスで北電の追加点を阻み、10分28-18と10点リードを奪った。北電も神田のロングなどで粘るものの、波に乗る紡織の勢いを食い止めることはできなかった。

女子の北國-H C名古屋戦は、横嶋の先制点から始まる3連取で幸先のよいスタートを切った北國に対し、名古屋もディフェンスからの速攻で得点を返し、7分には3-4と1点差に詰め寄った。しかし、ここから北國はエース上町がカットイン、7mスロー、スカイプレーと大車輪の活躍で13分8-5と試合の流れを引き寄せると、その後も快調なペースで得点を積み上げた。名古屋も佐藤、菅谷らで反撃を試みたが散発の得点に終わり、点差は開く一方となった。

オムロン-三重バイオレットアイリス戦は、地力に勝るオムロンが堅守から速攻を立て続けに決め、開始15分で11-2と大量リード。その後も着実に加点し、前半を17-5で折り返した。後半、三重もオムロン・洪に密着マークをあてて相手の攻撃リズムを崩し、伊藤らの5連取で反撃に転じたが、前半の大量失点が多くのしかかり、勝機を見出すまでには至らなかった。



④開幕5連勝を飾った大同特殊鋼・李
⑤大車輪の活躍を見せた北國銀行・上町

第6週の日程

10月18日(土)	・千葉・市川市塩浜市民体育館(東西線南行徳駅京成バス終点徒歩1分)	14:00～(男)	大崎電気 × トヨタ紡織九州
	・広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00～(女)	広島メイプルレッズ × オムロン
10月19日(日)	・石川・小松総合体育館(J R北陸本線小松駅徒歩20分)	16:00～(女)	北國銀行 × ソニーセミコンダクタ九州
		13:00～(女)	H C 名古屋 × 三重バイオレットアイリス
	・愛知・ブラザー工業体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩5分)	15:00～(男)	トヨタ自動車 × 北陸電力
		17:00～(男)	豊田合成 × トヨタ車体
	・三重・四日市市中央緑地体育館(近鉄線四日市駅バス「中央緑地公園前」徒歩10分)	14:00～(男)	H o n d a × 大同特殊鋼
	・広島・湧永満之記念体育館(J R芸備線甲立駅車10分)	14:00～(男)	湧永製薬 × 琉球コラソン



トヨタ紡織九州・村上秀

車体、ソニーらが順当に白星重ねる

10月11日の残る男子2、女子1試合も見逃せない戦い。愛知・稲沢でのトヨタ車体-琉球コラスンの一戦は、コラスンが持ち前のアグレッシブな3:2:1ディフェンスを仕掛けてペースをつかみ、前半22分10-6と4点リード。コラスンのリーグ初勝利に期待が高まる中、車体も直後のコラスン・田場が退場したチャンスを逃さずに追撃。車体は11-11と試合を振り出しに戻して前半を終えると、後半は崎前、野村らで効果的な連続得点を繰り返し、コラスンを突き放して3勝目をマークした。同じく稲沢での豊田合成-トヨタ自動車の対戦は、開始59秒、自動車が光増のゴールで先制したものの、合成はすぐさま大橋のゴールをキッカケに7分までに5連取。これで勢いづいた合成は、ホームコートの声援も背に、大橋、渡久山を中心に一気のスパート。後半、自動車も坂口、倉田らで得点ペースを上げたが、合成に大きく傾いた流れを引き寄せるまでには至らず。合成が大量12点差をつけて今シーズン2勝目をマークした。

佐賀での広島メイプルレッズ-ソニーセミコンダクタ九州の戦いは、序盤、2度の3連取でわずかに抜け出したソニーを広島が懸命に追いかける展開。前半16分過ぎまでは7-9と射程距離を保っていた広島だったが、郭を軸とするソニーの展開力が光り始めると、完全にソニーペース。ソニーは後半13分から20分にかけてはダメ押しの8連打も披露し、あっさりと広島の挑戦を退けた。

次の第6週は、10月18日と19日の両日、男子は千葉での大崎-紡織、女子は石川での北國-ソニーなど、興味深い男子5、女子3試合が組まれている。

◆ 10月11日(土) 女子 愛知・中村スポーツセンター	◆ 10月11日(土) 男子 愛知・中村スポーツセンター	◆ 10月11日(土) 男子 愛知・稲沢市総合体育館
北國銀行 38 (19-8 / 19-6) 14 4勝1分0敗	H C名古屋 0勝0分5敗	トヨタ車体 32 (11-11 / 21-10) 21 3勝0分2敗
<0/1> K 下地 近藤 K <0/3> 4/4 8/10 上町 池田 2/3 4/4 宮前 佐藤 4/14 1/1 0/0 川井 高橋瑛 2/10 7/9 小野澤 鈴木 0/2 3/3 横嶋 菅谷 3/10 1/1 3/5 野路良 高橋玲 0/3 2/5 武井 家城 K <0/1> K 田代 秋山 1/2 0/0 仲宗根 徳永 K <0/1> 0/2 野路里 K 大澤 3/3 八十島 4/4 若松	大同特殊鋼 30 (17-9 / 13-12) 21 5勝0分0敗	大崎電気 3勝1分1敗
	0/0 松林 浦和 K 1/1 9/13 末松 前田 0/7 1/1 1/1 浦田 中川 1/3 3/4 富田 永島 5/6 1/1 3/6 地引 太田 0/3 2/5 武田 酒井 0/1 K 高木 濱口 K <0/1> 3/6 李才佑 岩永 0/5 3/5 千々波 東俊介 4/5 2/4 山城 石原 K <0/2> K 東 秋山 1/1 1/1 1/4 白元 内田 6/10 0/2 松永 猪妻 0/4 0/0 渡久川 宮崎 4/11	琉球コラスン 0勝0分5敗
		<1/2> K 木下 村山 4/10 2/3 0/1 4/5 田中 棚原 0/0 0/1 佐々木 積 1/2 1/1 3/6 高智 池田 0/1 1/1 0/0 安藤 志慶真 2/3 3/4 3/3 野村 内田 K <1/3> 1/1 藤田 水野矢 0/0 3/6 北出 内山 0/0 <0/2> K 田平 田場 2/9 1/1 1/2 小沢 高田 5/15 0/0 長谷川 石田 K <1/4> 2/2 鶴谷 水野紀 4/4 4/7 崎前 6/7 門山
4/4 34/45 2(FPP)6 12/44 2/2 審判(油上・中村) 観客 675人	3/3 27/50 7(FPP)7 21/56 0/0 審判(浜田・小笠原) 観客 1378人	5/7 27/40 5(FPP)20 18/44 3/4 審判(佐々木・高原) 観客 486人



湧永製薬

ハンドボールの魅力をつつぷりと

昨年7月より広島エフエム放送にて毎週水曜日午後8時から、ハンドボールの魅力をつつぷりお届けする番組が放送されています。その名も「HAND'S TWO HANDS」。番組の進行役は、DJ 渡部裕之さん(写真㉔)とチームOBの長澤純平さん(写真㉕)。

番組のメインは、毎週湧永レオリックの選手・OBや広島メイプルレッズの選手が生出演する「ゲストコーナー」。試合で見せる厳しい顔とは違う、素の選手の声や渡部さんと長澤さんが聞き出してくれます。また「日本ハンドボール協会・公認審判員への道」では、渡部さんが、D級審判員の資格を目指して、A級審判員の資格を持つ長澤さんに教わるコーナーです。このコーナーのお陰か(?)渡部さんは昨年、審判員として実際に小学生の試合で笛を吹かれ

ました。

この他、「ハンドボールインフォメーション」、「ハンドボールこぼれ話」、「質問コーナー」など盛りだくさんなお送りしています。

全国のファンの方にお届けできないのが非常に残念なのですが、広島エフエムが聞ける方は、ぜひ応援して下さい。

番組のホームページが公開されています。広島エフエム「HAND'S TWO HANDS」<http://hfmweb.jp/hands/index.html>からご覧下さい。





ソニーセミコンダクタ九州・飛田

◆ 10月11日(土) 男子
愛知・稲沢市総合体育館

豊田合成	31	(16- 8)	19	トヨタ自動車	1勝0分4敗
2勝0分3敗		(15-11)			
K 大立	増田	K			
1/ 1 原	坂口	3/ 5			
1/1 7/12 大橋	岩田	1/ 6			
0/ 7 桶谷	栗崎	4/ 5 0/1			
1/ 3 加藤	小林	0/ 3			
0/ 0 大植	多和田	2/ 7 1/2			
5/5 3/ 5 渡久山	倉田	3/11			
4/ 6 今村	藤 K <0/2>				
4/ 5 中村	澤田	0/ 0			
2/ 3 芳仲	成田	0/ 0			
<3/4> K 藤堂	出會	0/ 0			
2/ 3 米本	稲本	K <0/4>			
1/ 4 畠中	光増	5/ 8 0/1			
0/ 0 田形	福田	0/ 0			

6/6 25/49 10(FPP)11 18/45 1/4
審判(青木・根来) 観客 625人

◆ 10月11日(土) 男子
三重・三重県鈴鹿スポーツガーデン体育館

湧永製菓	28	(16- 9)	21	Honda	1勝0分4敗
4勝1分0敗		(12-12)			
<2/3> K 志水	中谷	0/ 0			
4/ 7 坂本	鶴見	6/ 7			
3/ 6 山中	柳本	1/ 5 1/2			
3/ 4 福田	河瀬	5/ 8			
0/ 0 吉田	竹田	4/ 9 0/1			
0/ 0 名嘉	横地	2/ 8			
2/ 5 東	伊藤	0/ 0			
K 坪根	青山	0/ 0			
5/ 9 新	吉村	K			
0/ 1 武藤	瀬元	0/ 0			
2/ 2 今井	野嶋	2/ 7			
K 松村	高木	0/ 0			
3/ 4 古家	兼浦	K			
6/12 東長濱	四方	K			

0/0 28/50 4(FPP)3 20/44 1/3
審判(家永・福島) 観客 415人

◆ 10月11日(土) 女子
佐賀・神埼中央公園体育館

ソニーセミコンダクタ九州	34	(16-10)	21	広島メイプルレッズ	2勝0分3敗
3勝0分2敗		(18-11)			
<1/2> K 中島	堂面	K <1/4>			
12/19 郭惠静	土屋	0/ 4			
1/ 2 長野	樹山	0/ 0			
1/ 2 工藤	青戸	0/ 0			
3/ 5 亀山	大前	3/ 6			
5/ 9 高栖	植垣	1/ 2 1/1			
K 飛田	李	5/12 0/1			
3/3 3/ 5 樋口	菅野	6/12			
0/ 0 佐師	坪井	0/ 0			
1/ 1 飯田	伊藤	2/ 6			
K 南	坂口	2/ 4			
0/1 1/ 1 東	安齋	0/ 0			
0/ 0 川口	石山	1/ 1			
4/ 8 金城	新城	0/ 0			

3/4 31/52 11(FPP)9 20/47 1/2
審判(黒木秀・黒木龍) 観客 235人

◆ 10月11日(土) 男子
佐賀・神埼中央公園体育館

トヨタ紡織九州	38	(20-15)	32	北陸電力	1勝0分4敗
4勝0分1敗		(18-17)			
K 松野	西田	K <0/1>			
7/ 8 中島	高橋	3/ 6			
0/ 1 西端	神合	8/14			
4/ 6 村上直	落合	3/ 5			
1/ 1 松信	桜井	3/ 6			
5/ 7 村上秀	前田	7/ 8			
3/ 5 呉相民	高田	0/ 2			
1/ 1 佐久間	杉山	7/ 7			
0/ 1 鶴田	大谷	0/ 0			
5/ 5 海道	表	1/ 1			
5/ 7 阪	山原	0/ 0			
K 谷川	亀田	0/ 0			
3/5 1/ 1 藤本	丸山	K <2/4>			
3/ 4 泉原					

3/5 35/47 3(FPP)7 32/49 0/0
審判(金子・児玉) 観客 330人

◆ 10月11日(土) 女子
熊本・山鹿市総合体育館

オムロン	33	(17- 5)	18	三重ハイトップス	1勝0分4敗
4勝1分0敗		(16-13)			
K 勝田	浅井	K <0/3>			
8/12 城内	横川	1/ 7			
1/ 2 安心院	桂	1/ 2			
1/ 1 巻	宮下	0/ 1			
0/ 0 西本	竹上	0/ 0			
5/6 0/ 0 吉田祥	谷口	1/ 2			
1/ 6 藤井	北村	1/ 1			
5/ 8 佐久川	伏見	0/ 0 0/1			
1/ 2 坂元	橋本	1/ 6			
0/ 0 久野	野中	3/ 5 1/1			
2/ 4 洪廷昊	毛利	K <1/3>			
<1/2> K 藤間	星野	4/ 6			
0/ 0 高田	伊藤	5/12			
9/11 東濱	森田	K			

5/6 28/46 3(FPP)2 17/42 1/2
審判(浦川・石崎) 観客 650人



H C 名古屋

「コアラの秘密」

ホームゲームで愛嬌を振りまいている、HC名古屋のマスコット(コアラ)をご紹介します。

名古屋市とオーストラリアのシドニー市は昭和55年に姉妹都市提携をし、その交流事業として日本で初めて東山動物園にコアラがやってきました。中日ドラゴンズのドラアラが大ブレイクしているように、名古屋市民にとってはおなじみのキャラで、公募をした結果現在のデザイン(人呼んで、プリティコアラ=①とバッドコアラ=②)になりました。

ホームゲームでブラカード係をやったり、7mスローのゴールキーパーをしているコアラは、初めて日本に来たコアラの名前にちなんで、ブルーとコロコロという名前がついています(写真)。選手と一緒にウォーミングアップをこなす器用なコアラで、現在 JHL 機構に選手登録を申請しています。

アニメ版のプリティコアラは、実はハンドボールだけでなく、ランニング、剣道、バレーボールバージョンがあり、実際に活動をして

いる各クラブのマークになっています。これは総合型地域スポーツクラブの理念をあらわしています。

そして、現在トップチームのマスコットがバッドコアラ。子供だったコアラが大人になり、ちょっとクールな雰囲気を醸し出しています。名前はナボック&アイラ。名古屋のエポックメイキングになるようにということと、愛知のアイに、時代をつくる(アエラ=ラテン語・時代)という願いがこめられた造語です。

是非ともブラザー体育館でのホームゲームに足を運んでいただき、スリリングで、かつ、アットホームな大会を楽しんでください。お祭り好きのブルーとコロコロがお出迎えます。



男女個人賞レース 第5週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末松 誠 (大同特殊鋼) 45点 (5試合)	1 上町 史織 (北國銀行) 45点 (5試合)
2 光増 由矢 (トヨタ自動車) 32点 (5試合)	2 郭 惠 静 (ソニー) 40点 (5試合)
3 中嶋 嘉之 (トヨタ紡織九州) 31点 (5試合)	3 佐久川 ひとみ (オムロン) 26点 (5試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気) 31点 (5試合)	3 菅野 喜恵 (メイプルレッズ) 26点 (5試合)
5 村山 裕次 (琉球コラソン) 30点 (5試合)	5 城内 真紀 (オムロン) 25点 (5試合)
6 柳本 義文 (Honda) 29点 (5試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行) 24点 (5試合)
6 竹田 寛明 (Honda) 29点 (5試合)	7 樋口 真央 (ソニー) 23点 (5試合)
6 東長濱 秀作 (湧永製薬) 29点 (5試合)	7 藤井 紫緒 (オムロン) 23点 (5試合)
9 門山 哲也 (トヨタ車体) 28点 (5試合)	7 東濱 裕子 (オムロン) 23点 (5試合)
10 内田 雄士 (大崎電気) 27点 (5試合)	7 李 キョンミン (メイプルレッズ) 23点 (5試合)
10 新 建二 (湧永製薬) 27点 (5試合)	11 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 22点 (5試合)
10 大橋 隆之 (豊田合成) 27点 (5試合)	11 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 22点 (5試合)
13 中村 晃己 (豊田合成) 25点 (5試合)	13 高栖 由香 (ソニー) 21点 (5試合)
13 杉山 卓也 (北陸電力) 25点 (5試合)	13 佐藤 由紀恵 (HC名古屋) 21点 (5試合)
13 鶴見 拓 (Honda) 25点 (5試合)	15 洪 廷昊 (オムロン) 20点 (5試合)

フィールド得点賞

1 末松 誠 (大同特殊鋼) 39点 (5試合)	1 郭 惠 静 (ソニー) 39点 (5試合)
2 光増 由矢 (トヨタ自動車) 32点 (5試合)	2 菅野 喜恵 (メイプルレッズ) 26点 (5試合)
3 中嶋 嘉之 (トヨタ紡織九州) 31点 (5試合)	2 上町 史織 (北國銀行) 26点 (5試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気) 31点 (5試合)	4 城内 真紀 (オムロン) 25点 (5試合)
5 門山 哲也 (トヨタ車体) 28点 (5試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン) 25点 (5試合)
6 新 建二 (湧永製薬) 27点 (5試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行) 24点 (5試合)
7 内田 雄士 (大崎電気) 26点 (5試合)	7 東濱 裕子 (オムロン) 23点 (5試合)
7 竹田 寛明 (Honda) 26点 (5試合)	8 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス) 22点 (5試合)
9 中村 晃己 (豊田合成) 25点 (5試合)	9 高栖 由香 (ソニー) 21点 (5試合)
9 鶴見 拓 (Honda) 25点 (5試合)	10 藤井 紫緒 (オムロン) 19点 (5試合)
	10 洪 廷昊 (オムロン) 19点 (5試合)
	10 佐藤 由紀恵 (HC名古屋) 19点 (5試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 内田 雄士 (大崎電気) 26点/ 30射 0.867	1 横嶋 かおる (北國銀行) 24点/ 30射 0.800
2 中村 晃己 (豊田合成) 25点/ 33射 0.758	2 城内 真紀 (オムロン) 25点/ 32射 0.781
3 中嶋 嘉之 (トヨタ紡織九州) 31点/ 42射 0.738	3 佐久川 ひとみ (オムロン) 25点/ 34射 0.735
4 末松 誠 (大同特殊鋼) 39点/ 54射 0.722	4 高栖 由香 (ソニー) 21点/ 32射 0.656
5 新 建二 (湧永製薬) 27点/ 46射 0.587	5 菅野 喜恵 (メイプルレッズ) 26点/ 44射 0.591

7mスロー得点賞

1 渡久山 慶一 (豊田合成) 10点 (5試合)	1 上町 史織 (北國銀行) 19点 (5試合)
1 村山 裕次 (琉球コラソン) 10点 (5試合)	2 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス) 11点 (5試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼) 6点 (5試合)	3 樋口 真央 (ソニー) 10点 (5試合)
3 柳本 義文 (Honda) 6点 (5試合)	4 吉田 祥子 (オムロン) 9点 (3試合)
3 東長濱 秀作 (湧永製薬) 6点 (5試合)	5 菅谷 美奈 (HC名古屋) 5点 (5試合)
3 香川 将之 (トヨタ車体) 6点 (4試合)	5 李 キョンミン (メイプルレッズ) 5点 (5試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKを対象)

1 高木 尚 (大同特殊鋼) 5本/ 8射 0.625	1 田代 ひろみ (北國銀行) 6本/ 12射 0.500
2 兼浦 裕也 (Honda) 3本/ 5射 0.600	2 毛利 久美 (バイオレットアイリス) 3本/ 7射 0.429
3 田平 龍太郎 (トヨタ車体) 6本/ 12射 0.500	3 近藤 澄江 (HC名古屋) 5本/ 14射 0.357
3 藤堂 聖二 (豊田合成) 4本/ 8射 0.500	4 藤間 かおり (オムロン) 4本/ 12射 0.333
5 東 佑三 (大崎電気) 4本/ 9射 0.444	5 中島 亜樹 (ソニー) 1本/ 6射 0.167

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第5週終了 10月11日

順位	男子	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ紡織九州	大崎電気	トヨタ車体	豊田合成	Honda	北陸電力	トヨタ自動車	琉球コラソン	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼	○		38 ○ 18	30 ○ 21	32 ○ 20			41 ○ 25	39 ○ 23		5	5	0	0	10	180	107	73
2	湧永製薬				27 △ 27	29 ○ 28	39 ○ 20	28 ○ 21	32 ○ 18			5	4	1	0	9	155	114	41
3	トヨタ紡織九州	18 ● 38					38 ○ 19	28 ○ 25	38 ○ 32		35 ○ 19	5	4	0	1	8	157	133	24
4	大崎電気	21 ● 30	27 △ 27						33 ○ 21	43 ○ 23	49 ○ 22	5	3	1	1	7	173	123	50
5	トヨタ車体	20 ● 32	28 ● 29					36 ○ 27		37 ○ 21	32 ○ 21	5	3	0	2	6	153	130	23
6	豊田合成		20 ● 39	19 ● 38				28 ○ 27	27 ● 29	31 ○ 19		5	2	0	3	4	125	152	-27
7	H o n d a		21 ● 28	25 ● 28		27 ● 36	27 ● 28				36 ○ 26	5	1	0	4	2	136	146	-10
8	北陸電力	25 ● 41	18 ● 32	32 ● 38	21 ● 33		29 ○ 27					5	1	0	4	2	125	171	-46
9	トヨタ自動車	23 ● 39			23 ● 43	21 ● 37	19 ● 31				35 ○ 32	5	1	0	4	2	121	182	-61
10	琉球コラソン			19 ● 35	22 ● 49	21 ● 32		26 ● 36		32 ● 35		5	0	0	5	0	120	187	-67

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	○	22 △ 22	30 ○ 27	31 ○ 22	33 ○ 18	36 ○ 12	5	4	1	0	9	152	101	51
2	北國銀行	22 △ 22		23 ○ 21	29 ○ 21	28 ○ 18	38 ○ 14	5	4	1	0	9	140	96	44
3	ソニーセミコンダクタ九州	27 ● 30	21 ● 23		34 ○ 21	26 ○ 21	34 ○ 17	5	3	0	2	6	142	112	30
4	広島メイプルレッズ	22 ● 31	21 ● 29	21 ● 34		22 ○ 16	37 ○ 22	5	2	0	3	4	123	132	-9
5	三重バイオレットアイリス	18 ● 33	18 ● 28	21 ● 26	16 ● 22		26 ○ 19	5	1	0	4	2	99	128	-29
6	H C 名 古 屋	12 ● 36	14 ● 38	17 ● 34	22 ● 37	19 ● 26		5	0	0	5	0	84	171	-87

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。